

3. 自由回答（個人情報等に関する記載を除く）

※できる限り原文のままとしています、一部個人情報等に関する記載は削除しています。

- 必ず朝晩の挨拶が明るく自然に言える、聞かれる町内会でありたいと念じています。
- 佐世保から越してきて一年になります。まだまだ知らないことだらけなので、回覧板等で佐々町を知っていききたいと思います。
- カウンセリングステーション「こころね」をいろいろな方へ広く知って頂きたいです。悩んでも言えない人、一人で抱え込んでいる人、過去から立ち上がれない人の救いに必ずなると思います。体調に合わせたメディカルアロマも、やさしい町作りの一つとして、やさしい香りも人の心をほぐしてくれるので大切だと思います。
- 今は仕事に一生懸命の為、地域の支え合いやボランティア活動に参加できませんが、仕事が短時間になり、年金で生活するようになった時、自分の体がスムーズに動くのであれば、地域に目を向け、できることからさせて頂き、お役に立てればいいなと思います。自分も年をとっていくのですから、例えば、車を使わなくなった時にたくさんの不自由なことも起こってくるのではないかなと思います。買いたいものがあってもすぐに行けないとか、もしかしたら病院にも行きにくかったりした場合のことなども、今回このアンケートを読むうちに考えさせられました。先にできることからさせて頂いて、やがて自分の番になった時に、支え合いをやっていて良かったなあと考えるように、ポイントや個人の資金援助があり、のちにポイントを使えるといいと思いました。仕事場と家を行ったり来たりしていて、なかなか近くに住んでいる方と話をせずに月日が過ぎていっており、ふれあいがやっとなでできるのではないかなと思いました。人見知りもあり、最初のスタートを親切な方と教えて頂きながら取り組めたらと、後々のことを思わされました。ありがとうございました。
- 佐々町内であればバスや電車料金を安くし
- ても良さそう
- 町内会、子供会への強制的な呼びかけはやめてほしい。人付き合いをしたくない人もいます。地域の支え合いをしたいならすればいい。したくない人への無理強いはいくはない。お金があればこんな町出て行くけど、無理だから仕方なく住んでいる。
- 女性の一人暮らしです。住居のまわりに街灯が少なくて怖いので増やして欲しいです。
- 佐々町は融通がきかない。もう少し柔軟になってほしい。四角四面。福祉センターの充実を望む。決まりにとらわれすぎる。規則は必要ではあるが。
- 身体が不自由になってとても不安になり福祉に相談したところ、いろんな事をしていたき今日に至ります。本当に助けて貰って有難かったと感謝しています。
- 今は歩けるから良いのですが、歩けなくなった時はタクシーを多く使うと思いますので、もう少し援助があると良いかと思います。そしたら出かける事も多くなると思います。
- (独居で高齢者)の暮らしをしているので、出来る限り人様に迷惑をかけない様日々の暮らしを清潔でいたいと思っています。
- 佐々町のホームページを何名の人が見ていると思っていますか。いいことを計画、実施しても、いかに周知されるのが課題であると思います。
- アンケートに答える（読む）ことで、佐々町の取り組みがよくわかりました。良かったです。
- 佐々町は、子育てでもボランティアでもいろんな面で力を入れてくださっているのです、佐々町に来て2年になるのですが、住みやすくと佐々町に住んでいたいと思える町と思います。
- 佐々町に転入してきて半年が経ちました。買い物をする場所も充実しており、満足しています。特に図書館がイベント性にあふ

れており、今までいろんなところに住んできましたが、一番です。カウンター前の本特集コーナーが好きです。佐々町に住めて嬉しいです。

- タクシー料金助成のシステムがかわって、90 才をすぎた父が全く利用しなくなったと少々怒りながら言っている。今までは近いところなら 0 円で行けたが、今は 270 円払わないといけないので使わないらしい。枚数が減ってもいいので前までのシステムに戻すことがよりご老人に寄り添った町の施策と考える。
- 頑張ってください。応援しています。
- 里免付近で、ご高齢の男性が同じくご高齢の男性の車イスを押して、坂を昇り降りされているのをよく見かけます。お声がけてきてないですが、坂の途中されている事もあり、心配になる事もございます。町としても把握はされているかと存じますが何か支援が出来ないでしょうか。
- 私、60 歳を目前に生きています。佐々町に住んで 30 数年経ちますが、この町が大好きです。離れるタイミングはあったのですが、やっぱり離れなくて良かったです。この町、大好きです。
- 役場窓口対応等々、大変よくしてくださりありがたいです。この世の中、他の地域での出来事は佐々町でもあり得る事案ばかりです。どうか、心から佐々に住みたい、住んでよかった、住み続けたい、と思ってもらえる様あってほしいと思います。その内、佐世保市内の福祉施設での虐待があきらかになるでしょう。明日は我が身と思い、表面的な見方ではなく、深く物事やこの状況を見る、知る、考える力が増々必要となると実感しています。後、うつ等で本当に苦しんでおられる方はおられるのですが、佐々町内には、偽りの障害、障害者にしたてての方がおられるので、何もおこらないことを願います。今の住居周辺はとても私たちにとって善い場所なので、申し訳ないです。
- 住みやすい佐々町でいられるように、これ

からも、又、これまで以上に子供からお年寄りの方までが笑顔でいられる佐々町を目指して頑張ってください。

- 佐々町に住み始めて 2 年目になりますが、知らないことがたくさんあるなと思いました。行政等についての感心がなく、目を向けてなかったのも、これから目を向けていこうと思いました。
- 町の計画は、ボランティアばかり偏り過ぎていると思います。今の 65 才以上の方は年金もありますが、今後はどうなるかわかりません。すべてボランティアに頼ることに限界があります。ボランティアも確かに大切です。でもボランティアの方は土曜も日曜も活動しています。年金がどれほど入るかわからない世代には無理です。定年後も働かなくては生活ができない世の中であることを町の職員や議員の方は理解しているらっしゃるか疑問です。
- 外灯を増やしてほしい（ロ石デイリーが閉店して、明かりがなくなり、子供が歩いて帰るのに暗くて怖いと言っている）。学童付近のカーブミラーを増やしてほしい（カーブミラーが時間帯によって太陽の光で全く見えない）。
- 福祉の仕事に就いて 2 年になります。まだまだ右も左もわかりません。早く一人前になれるよう努力していただけます。ただ、一つだけ、心豊かに人生を楽しんでいきます。
- 健康な時は、福祉センターでボランティアをさせてもらいましたが、いざ自分が高齢者になると体が動かず生活に必要なお金がなく、やっぱり健康な体だと今は感じています。手も不自由で字もろくに書けません。お金がなく、デイサービスへも行けません。気軽に何でも相談できる、そういう施設であってほしいと思います。
- 犬猫を飼っておられる方に強く申し上げたい。夜に散歩をさせ、他人の家や塀のまewith、フン、尿を絶対にさせないでほしい。きちっと始末をして下さい。それが出来なければ犬猫を養う資格はないと思います。
- 81 歳になり、年の割には健康であると自負

- している。ボランティア活動については、1. 定期的な通院が必要。2. 時間的な制約を受ける。ことから考えざるを得ない。
- 通院はしているが、今のところ夫婦でなんとかこなっているのが、必要性があまり感じられない。
 - 包括支援センター神田地域担当の方が、町内会長さんに話して下さいましたが(ボックス設置場所やその他)、無理とのことでした。その内ボランティアの方へお願いすることにします。
 - 弟が成年後見人利用。10 年間つとめた後見制度廃止。
 - 佐々町内は様々なボランティア活動団体があります。しかし、中には高齢化(スタッフ)で人員不足グループもあります。それらグループの為に広報「さざ」に公募の枠を設けて広くボランティアを活性させて欲しい。
 - 役場勤務の方の市民に対する接し方は非常に丁寧だと思う、今後とも変わる事のないように願う。
 - こういうアンケートによる資料集めはとても良い事だと思います。介護とかボランティア等どちらかと言えば地味な事に光を当てる仕事は大変な事も多いですが頑張ってください。
 - 佐々町民になって1年足らずで余りわかりません。将来ずっと住むかもわかりません。
 - 高齢者対応の窓口を一本化して欲しい。社保から国保になった折、高齢者へのサービスについて、一切、説明がなかった。
 - 一貫して安心して佐々町で住みたい。①小さい子らもあらゆる面で自給自足(地産地消)が安心と思う。②少子化問題は大きい…幼な友が年老いる迄同じ地域で生きられたら…。二世世代三世代と仕事引き継がれていったら(世襲)固定資産税は免除するとか…。無論 今世の家族制度が必ずしも全て OK とは思わないが、屋台骨が、日本独自の良さが崩れてゆく様とも見える(墓じまい、実家の片付け、里山の荒れ、独自の文化…)。自由を得たが世代間の情も薄れ、孤のつらさも大きくなってきている感がある。
 - 前向きにとりくまれようとする姿勢を感じます。
 - 個々人で悩みを抱えていても、人に言えなかったりして、孤独をすごく感じている人がいます。そんな人がボランティア活動に参加して喜びを感じ、生きている事の喜びを感じられれば生きる力になると思います。
 - 活動の拠点整備について、高齢者でも活用場所が参加しやすい情報が提供されると積極的に参加できると思います。佐々町は自然に恵まれており、山林、里山の整備について積極的に取り組むことでハイキングやサイクリングロードなども楽しんで参加でき、健康づくりに結びつくと思われる。耕作放棄地を畑として整備して町民に貸与することで菜園を楽しみたい人も多いと思います。
 - 平成14年から町内の4つのグループでボランティア活動をしているが、活動している人の年齢が高齢化！若い方に声を掛けてもなかなか入ってもらえない。自分の為の運動や趣味には毎日でも時間を削っている方が多いように思う。活動していて、子どもの笑顔や「いつもありがとう」と言って下さる言葉がやりがいになる活動なのだと思う。人の為にしているのではなく、自分が健康で笑顔で過ごすことが出来るのがボランティア活動と思う。役場を退職した方々の参加がないのは「？」です。佐世保に行くと友人、知人が「佐々」はいいね～と言ってくれる。福祉が行き届いていると感じています。集計と大変かと存じますがよろしくお願い致します。お世話様です。
 - 佐々町に住んで良かったと思う毎日で感謝しております。
 - 1：新庁舎の障害者駐車場について、設計変更が可能であれば、本入口付近で屋根付の段差がない場所が良い。2 (1)：小浦の工業団地は空地があるので、早急の企業誘致が望ましい。(2)：町内各所にある町有空地は、将来利用計画が無い土地は売却し、(1)と合わせ、住宅が建つ事で、住民税等、各種税収入増が見込まれ、雇用確保、人口減対策

となるので早急に対応してほしい。3：でんでんパークに隣接している空地について、公園に接している空地が2ヶ所あるが、いずれかに子供用のゴーカート場を設ける事を検討してはどうか。小学生以下を対象とした交通ルールの勉強の場としても、また、周辺町との交流も出来、若い世代の定住にも寄与するのではないか。4：広報について、広報は最小限にしてほしい。スピーカー設置周辺では音量が大きく、昼間でも、交代勤務(看護師等)の人は寝ているし、病人、赤ちゃんもいる。特に国政選挙の長期間に渡って期日前投票の呼びかけ等。また、猿、猪の出没情報については、北部南部いずれかにしてほしい。5：火災発生時の招集放送について、消防団招集の放送が遅すぎる。出張所の消防車がサイレンを鳴らして遅い時は10分以上経過して招集している。ありえない。密集地で強風時の建物火災の時は、燃えなくていい周囲の家まで延焼する。年間多額の税金が消防費として歳出されている。出初式や訓練だけの飾りかと思う。担当係は火災初期の対応の重要性をしっかり勉強して責務を果たしてほしい。

- 現在は元気に自立していますので不自由はありません。
- 施しを与える者、受ける者、富の再配分で解決を。国民年金で、1日1,500円のサービス利用が出来ますか？
- 皆さんがあたりまえの事をあたりまえに出来る事から取り組まれたらいかがでしょうか？子供から大人まで、オ・ア・シ・ス運動など声掛けあうのが大切だと思います。お金もかからないし皆さんが出来ると思います。
- 地域とのかかわりが薄い。新しい退職者への、福祉教育(親睦と健康づくり)。「学び」と「福祉」の融合で地域に支え合える関係が出来そう。
- 問37の、開設又は支援等の事はあまり知らず、これからは関心を持って行きたい。
- 貴課のやる気を感じるアンケートですが、佐々町予算からしてできる事は限度がある

と思います。人、物、金は不足していると思いますが、毎年1つでも目標を決めて達成する気構えを示して、目標に対する結果を公表してください。いっぺんには出来ないと思いますので、PCDAをまわして達成して行けば佐々町は変わると思います。現状で同じ仕事してもつまらなんでしょう。佐々町の改革を貴課から1歩ずつ始められることを期待しております。

- 問37について。利用実施の報告書など見たこともなく、成果を把握してない、アピール不足。学童保育など手厚くしている事はわかりますが、いっぺんには出来ないと思いますが、がんばってください。皆さん1日1回で改善出来ると思います。
- 佐々に高速ができたが、木場、平野口石免等は国道から高速入口に行く時まともな道はコンビニから佐々駅に抜ける直線道路だけ。国道と裏通りの真ん中あたりを、高速道路出入口にしてほしい。
- 子育て世代への支援の充実。高齢者社会への対応策。
- 問38、39、40の内容はどれも必要と思いますが、今のところ何とか出来ているが、これから先どうなるか判らないので少し心配です。糖尿病の食事管理でこまっている方の栄養指導(栄養士の方みずから直接指導してもらいたい)。
- 佐々町は住みやすく、子育てもしやすい環境で特に不満はありません。アンケートも参考にならず、すみません。今後も子育て中や、障害の方や高齢の方に対する住みやすい町へしていけたら良いと思っています。
- バスの運行していない地域への、小型バスの運行。
- 道路が狭く買い物に不便。歩道が途中でなくなり側溝の上を歩かなければならない。落ち葉や枯れ枝等があって足元が危ないところがある。町の方へ買い物に行くときはタクシーを利用している。
- これから第2の人生をと思って佐々町に越してきて3年。コロナ禍にふり回され全くと近所の方々の顔もわからず買い物とウォーキ

- ングでの外出のみ。週3回、放課後等デイサービスのスタッフとの交流しかなく、全く人と話していない日が多く、佐々町のことがよくわからず出来れば佐々町で生きがいや楽しみを見つけないかと願っています。
- 古川岳、皿山公園、佐々川河川敷公園等の再活用。
 - 佐々町民として考えるきっかけになり感謝しています。
 - 問32のアンケート番号6「6 道路や公共的施設のバリアフリー化」に関し佐々町の小、中学校における、校舎、廊下、通路到着等の段差解消、エレベーターの設置を要望します。
 - アンケートの結果は、パソコンを持っていない人のために、このように封筒で結果報告するか、報告会の開催日時を大きく回覧板で伝えてほしい。
 - 必要なこと、公園の整備・公園内の清掃。よくゴミが落ちている。
 - 母が亡くなり1人になり相談相手もないので、避難所や日頃住めるところと老人ホームなどの暮らせるところが欲しい（少し人がいるところがいい）。1人なのでもし亡くなったときや病気の相談相手がいない。母が亡くなり1人なので生活費の補助があると助かります。母が亡くなり毎日住める老人ホーム（暮らせるところが1人なのでお願いします。
 - 広報誌に毎日専門のページを作り、掲載する。
 - 国は幼少期の方には支援をされていますが、本当にお金が必要なのは高校や大学に行っている子供たちです。実際に子育てをしていない人が政治をやっているからわからないのしょうね。高校の授業料も両親の年収だけで決めるのは、やめてもらいたい。うちは高校生2人いますが、年収のせいで9,900円払っています。でもうちには、5人の子供がいます。子供の数も考えてもらいたいです。少子化問題とか言いながら子供が多い家族に年収だけで援助がないのは本当に腹が立ちます。育児にここまで心配
- 事があつたら誰も子供なんて産みませんよ。
- バス停(佐世保に行く方向の)に、椅子が欲しい。
 - 職場の皆様 毎日お疲れ様です。
 - 私は佐々町が大好きです。とても住みやすいです。
 - 数年前に佐々町に越してきて、以前は「佐々町は福祉に豊か」というイメージがあつたものの、実際、住んでいて思うことは、昔から住んでいた人達は情報や環境に詳しく、生活もしやすいとは思いますが、住んでいても、町内会費を払っていても町内がどのような形で何をされているのか全く知らない。子供の集団登校等も知人もいない為、どうすればいいのか全くわからず、どこへ尋ねれば良いかわからなかった。学校へ尋ねても「町内会」との返答で、誰、どこへ尋ねれば？と。知人がいないと生活し辛いなと思いました。
 - アンケートとは違いますが、一言書かせてください。大変感動致しました。そして、佐々町役場の職員さんがこうあってほしい、いやあるべきだと思いました。昨年は12月28日雪が積もりました。洗濯をしていましたら、途中から水が出ません。ヤバイ、今日は御用納めもうパニックです。役場水道課へ TEL 分かりましたすぐ手配しますとの言葉に安堵しました。そして洗濯機に寄って見ると脱水の方から水の音。あら、私のボケと分かり又 TEL。すみません、私の勘違いでそうですか、良かとですね。はい、すみませんと何度も頭を下げました。やっぱりボケかなーと少し悲しくなりました。しっかりせんばと自分に言い聞かせていたら、軽トラックが水道課の車。えっ、あらごめん連絡したとけど、はい、連絡受けましたけど以前工事をした場所だったので確認に登って来ました。忙しいかとにごめんねありがとうございました。涙が出ました。この職員さんの心に。時代の流れの中で、人の温もりが遠いもののように思っていた私でしたので、本当に嬉しかったです。なんね、こがん事って思われるかも知れませ

- んね。でもね、昭和生まれの私達には最高の宝物です。いろいろと施策、取り組みをして下さるのはいいですが、第一はそれに関わる人々の心がほしいです。役場もめったに行きませんが、何しろ明るいあいさつがないことが淋しいです。言いたいこと言ってすみません。佐々町を愛する老いた者より
- ヨーロッパみたいに福祉国家になってもらいたい。資本主義国家であり、弱者ははじきとばされる国家である。政治家を先生とよぶのは日本だけである。いつのまにか利権国家になり下がった。より国民の為の政治をしてほしいこの先が福祉国家であります。乱筆で失礼しました。がんばって下さい。
 - アンケート対象者は、認知症の為、子が回答しました。
 - 集合住宅などでは町内会に入っていない人が多い。ゴミ出しルールが守られていないので、町内会役員さんが分別している場所がある。何日もシールを貼られて放置している。
 - 生涯現役をスローガンに。高齢者が楽しめる仕事（有給）をつくれる施策を検討してほしいと考えます。今後、高齢者はどんどん増えますが、インフレ等で年金のみの生活はきついと思う。生きるたのしみがあれば健康にも気をつけるようになる。
 - 佐々川を歩いていると缶やポリ袋、ペットボトル、お菓子のつつみ紙、ゴミがたくさん捨てられています。拾えるゴミは拾っていますが、川べりにおちたゴミは川までおりなければならずひろえません。公園にもよくおちています。子供だけでなく大人が捨てたとおもわれる弁当のからごとポリ袋に入れられて捨てられています。拾えるものは拾っていますが、なんとかならないだろうかと思ふたびにおもいます。川から海へとながれてゆくゴミ止めたいです。
 - 70 オでタクシー会社を退職しましたが、自分の体が動く間には何かお手伝いをしたいと考えております。
 - 未婚ですが、将来の生活への不安があります。（特に金銭面において）
 - 高齢者が増え、若い世代の人との交流がほとんどなく、誰にも相談できず、話し相手もいない人がどれくらいいるのだろうと、アンケートに答えながら初めて考えました。何かできることはないかと思うきっかけになりました。小さな子供がいる世帯には難しいかもしれませんが、子育てが一段落した人などが参加できるようなきっかけがあるといいなと感じました。災害や強盗など不安な世の中ですが地域で協力できる事で安心できる部分もあるかと思います。
 - 今後ともよろしくお願いします。いつも親切にして頂きありがとうございます。
 - ありがとうございます！
 - でんでんパークをはじめ、いくつも公園があり、子育てがしやすい環境を整備して頂いて助かっています。もし可能であれば、子連れでも行きやすい商業施設や飲食店を誘致していただければ有り難いです。
 - 家の近くにゴミステーションがないので置いてほしい。
 - 母子家庭です。日、祝日は仕事が休みですが仕事上、早出（7:30-16:30）、遅出（9:00-18:00 だが、ほぼ残業あり）保育所が19:10より延長保育となり、週1回の遅出のときは、延長保育を利用することも多々あり。毎回300円の支払いをしている。帰宅後の食事の準備などをしていると寝かしつけが遅くなる。宿題も十分に見てあげられず子供たちに申し訳ない気持ちでいっぱい。学童利用も考えたが、経済的面やお迎えの時間を考えると利用しにくい。放課後の宿題見守りなどのボランティアがあると助かります。本当はもっと子どもに寄り添いたい。
 - ボランティア等を活用、頼るのも良いけど、条件等の割に合わない事が多い気がします。現在、部活の外部コーチをやっています。一応報酬はありますが、最大で年間24,000円、最小で12,000円、毎月20日程は行っている、50円/日以上になります。自分

は好きで手伝っていますが、他県で平日4時から見れる休日全部等の条件付を聞いた事があります。そんなのはリタイアした方しかいないと思います。となると体力的に無理がある、こんなじゃ人員は集まらないと思います。移動燃料代、飲み物代だけでも大赤字です。ましてや遠征等になると、保護者とのトラブルも当然あります。パートタイム的な手伝いではありますが、もう少し考えてもらえれば、と思います。佐々町の件と直接関係はない事ですけど（笑）。

- 日頃から佐々町は素晴らしい町だと思います。時々、友人と語り合います。町政だよりの人口覧を見て増えていれば嬉しいです。何よりも水不足がない事、まさに町歌にあるように夢あり愛あり誇りあります。それに佐々町が単独というのも強みじゃないでしょうか。福祉も力を入れられて関係者も苦労されていると思いますが、それにどちらの窓口も親切です。福祉の事でこんなに力を入れてもらって高齢者としてはありがたいです。
- 地域の小さな集団(町内会の班など)が活動するための、援助(方法や金銭面)を充実していただきたい。
- よく政治家は底辺の生活経験がない人が多く、人の苦しみを理解できない政策ないし、発言が多すぎると思う。それからして言えるのは、その立場にある人々の意見が現実味あり、本当に必要なサービスや手助けがわかるのではないのでしょうか。してあげる、という上から目線のサービスや手助けは私としても望まない。こんな事が言える私はまだまだ健全なのでしょうね。ほんとに必要になった時に素直に相談できる場所、それが本物の福祉だと思う。
- 高齢（86歳）ですので、いつまでも自立した暮らしが来るよう日々努めていきたいと思っています。
- 今回のアンケートは代筆させていただきました。本人が書けないとの事ですがはっきり言って、無理だと思います。内容もわかっていません。今後アンケート調査は必要

ないと思いました。

- 道路で動物の事故死があった際、国道、県道、町道の区別に関係なくスムーズに処理するようお願いしたいです。
- 地域のボランティアをすすめても限界がある。保険を最大限つかえて自費に対応する事業所をつくってほしいです。
- 佐々町単独での取り組みには限界があるのではないのでしょうか？近隣の市町村とも連携をはかるべきだと思います。若い世代の人口流出は止まることはないため、様々なサポート制度を行政から提案して頂きたいと考えます。
- 児童手当、支給対象児童を延長し、高校修了前（18歳到達後、最初の3/31まで）にしてほしい。
- 父は認知症のため健老に入所中です。長女が代わりに書きましたが、正確ではないと思います。
- 佐々町はもっともっと子育てがしやすい町になってほしいです。子どもが遊べる、学べる広場やセンターなど、税金を使って作ってほしい。（福岡の様な）観光地として県外からも人が訪れるようなカフェ、ショップの集合したオシャレなスポットをテナント募集して作ってほしい。
- 問 23-30 までの質問は、同居している方という限定があったため回答はしていないが、私たちのように近くに親がいて介助や支援をしている場合もあるので、今後の参考までに書いています。
- 佐々町は子育てもしやすく、良い町だと思います。町全体の子育てや高齢者への援助ができることを願っています。
- このアンケートを書くのに時間がかかる。質問の意味がわからない事が多い。
- 佐々町でキャンパスに世話になっている為、今後の活躍に協力して頂きたい。
- 障害者の方が駐車する場所の確保（高齢者、車イスの方が優先的に停めている、目に見えない障害者の方、透析患者等にも停めさせてほしい）。コロナワクチン接種の際、遠くの方に車を停めるよう係の人に言われた。

- 障害者マークを下げている対応してくれなかった。障害者に対して優しくない。
- 佐々町は福祉や健康に真剣に取り組んでいる町だと安心しています。しかし、佐世保市と合併したら色々なサービスがなくなるといいます。(心配しています) 今まで通り佐々町職員の方、がんばってください。
 - もしも一人暮らしになったと仮定したら、佐々町がおこなっている事はありがたい事と考えます。自分の足で歩いて健康センターに行って何らかの楽しい事をして、また歩いて帰ってくる。そんな生活ができれば理想です。
 - ①民生委員の声が全くない。電話でも良いから声かけがほしい。②特に台風の時など高齢者の一人暮らしは心細い思いをするので声かけてほしいと思います。③高齢者の避難場所を包括など相談して決めてほしい。④一度社協に避難させて貰ったがトイレなど非常に良かった。老人ら足腰が悪い人が多いので年に1回あるかないかの台風の時の避難場所を是非設定してほしいと思います。⑤各地区の民生委員の方の声かけなどするように福祉の方をお願いします。現在では年に1回ありません。
 - 住みよい町を作りましょう!!
 - 保健福祉総合計画やその他事業計画の達成度を知りたい。
 - 設問が難しい。回答するのに苦慮した。15分程度では回答できるようなものではない。果たしてアンケートの結果がどの程度、総合計画の策定に生かされるのか?特に「地域福祉」について。
 - 私は男性です。ボランティア(お年寄り)の世話は苦手です。百歳体操や、ディサービスで遊んでもらうには「はずかしい」「まだ必要ない」「楽しみは自分で見つけられる」などの思いがあり、参加したくありません。同世代と話しても同じ思いでいるようです。「楽しみ/趣味」にひたっているの、余分な活動にさそってほしくない。
 - 近頃見知らぬ人が入って来て犯罪等がニュースなどで聞いていますので、特に老人1人~2人暮らしの人は危険でもありますので、出来れば近隣に防犯カメラ付きで音声が出る器材を付けてほしいです。町議に取り入れて下さい!総合病院(大型)を作してほしいです(特に救急指定)。大型のショッピングモールを造って下さい!そしたら佐々町がより一層活性化するのではないですか!大企業の誘致。
 - 第8次地域福祉活動計画書をネットで拝見したが、平成23年策定された計画は平成28年で終わっている。続編あれば掲示すべきである。又、内容を見ると第2節「高齢者の福祉」の1項目、「生きがいと健康づくり」表題と内容がアンマッチ。どの様にして健康づくりに導くのか具体化出来る内容に咀嚼すべきではないか?
 - 私は町内会長をしていますが、町内会に加入する人が少ない。アパートなどが増えてきていますが、関心がないようです。火災や地震などがあった場合特に困ると思います。親睦を深めることで、何らかの情報が得ることができ、地域の活動に貢献出来るのではないかと思います。
 - 年を取って動けなくなる前にやる事が沢山あります。先ず、60才~65才で仕事を終える方々の身の振り方と心の整理。ご近所付き合いの大切な心の交流、町の支援が必要なそれぞれの部落の必要なお金の使い方、そして with コロナでの地域の活動の広がりを補佐する事の大切さ。町が率先して頂きたい。コロナはこわくないのだと町が言って欲しいです。
 - 佐々町役場職員の方々ガンバってください。
 - 町民がみなさん、生き生きと活性化して行動出来る町作り。生きがいのある町造りです。
 - 項目が多くて大変でした。今、仕事をしていますがこれを機会に地域の情報や活動など心がけていきたいです。よろしくお願いします。
 - 発達障害の子を持つ母です。現在の佐々の福祉サービスはトライアングルプロジェクト(家庭、教育、福祉)がきちんと機能し

ていない様に思います。小児発達外来を新設してくださり、助かっているご家庭もたくさんあると思いますが、福祉→教育→家庭の繋がりが弱いように思います。（家庭→福祉○）教育になかなか反映されていないように感じます。言語や作業、集団、理学等の専門的な療育機関が無いので、子供だけでなく親も学んだり（ペアレントプログラム等）、交流したり、相談できる場があればと思います。自分の子どもの特性について、なかなか言葉で説明するのは難しいです。定形発達のお子さんとは遊ばせるときに、いつもハラハラし、罪悪感もあります。親が学校の先生に「こんな事で困っている」「こんな事が苦手です」ときちんと説明できると、先生達や周囲の理解が深まるのではないかと思います。アセスメントシート（取り扱い説明書）を佐々町独自で作成して下さると親としてはとても助かります。（親が子の事を深く知り考えるきっかけにもなりました。）要望ばかりを書いてしまい、申し訳ありません。アンケートの機会をくださったことに感謝しております。

- 家族には療養を必要とする子が1人います。佐々町の支援で通学の時にジャンボタクシーを利用して特別支援学校に通っています。この通学支援は非常にありがたく助かっています。おかげで、妻も通学の付添をしなくてすむ分、仕事をできる時間にあてられていますからです。通学支援は中学校卒業までとなっていると思いますが、ぜひ高校卒業までの支援拡大をお願いします。子の障害の都合上、おそらく高校になっても付添は必要です。妻が仕事できる時間を確保するためにも通学支援を高校卒業まで延長を希望します。よろしくお願いします。
- タクシーサービス券を全部使うことはほとんどありません。500 円以内、病院から役場までとかお店までとか、半額というのはいかがなものでしょうか？考えていただきたいと思います。
- 物価上昇しているのに給料はなかなか上がらない。社会保険は徐々に増えている。そ

れに対して国または地域は何もしない。「儉約」のみ。給付金に関しても非課税者ばかり。基本的に全国民生活が厳しい中、物価上昇は正直きつい。プレミアム商品券も購入できるなら上限まで購入したいが現金が必要な時もあるので上限まで購入できない。先にすべきはみんな知っていると思いますが、子育て世帯に対してなにか補助するなりして生活の安定性についてもっと考えてほしい。1人親、非課税とか関係なく色々な政策をよろしくお願いします。

- 高齢なのであまりいい回答はできませんでしたが、私自身は家族がよくしてくれていますのであまり困ったことは、現在はみつかりません。佐々町はよくされているとは思っています。
- 介護保険は助け合いという事は分かりますが、ピンピンコロリで保険を使わなかった人に対する（家族も含めて）経済的援助は無いのか？
- 佐々町に引っ越してきて約4年半経ちましたが、子供が産まれて子育てしやすい環境にいつも感謝しています。でんでんパークや皿山公園をはじめ、沢山の公園もキレイにいつも整備していただいてありがとうございます。安心して遊ばせられます。佐々中の裏、清峰高校の近くは、朝晩たくさんの子供が通るのに本当に暗くて、道も狭いの歩道もなく危険です。どうか事故の起こる前に対策をして頂きたいです。また、朝、毎日信号のない横断歩道で誘導してください。おじさま方、冬の暗い中見づらいです。皆さんにピカピカ光る誘導棒をあげたらいいと思います。寒い日も雨の日も毎日ありがとうございます。
- 佐々町がんばれ！
- 公園でタバコを吸う人が多い。注意しても減らない、知らない。子供のことを考えていない。罰金にすべき。無理なら巨大な看板を置くべき。
- 保育園、小学校も、もちろんお金はかかりますが、中学校、高校に行くともっとお金がかかります。中学校までは児童手当があ

りますが、高校生になるとなくなります。その3年間に少しでも手助けして頂けると子育ての期間を乗り切れる気がします。ご検討をお願いします。公園を整備して頂きありがとうございます。

- お疲れ様です。地域の人とのふれあいをしたいため、ボランティア活動をしたいと思っています。今は何とか自分の体も動かし、人のためになることを常にしたいと思っています。
- このようにアンケートをとって皆さんの意見も書いてあると思いますので、読んでもらって色々な事で活用してもらいたいです。今からは老人が多くなるので、一人暮らしに多く話しかけたり、ボランティア活動を多くしてもらいたいです。それから、登校拒否など子どもが増えているようなので手をのばして、一人一人に支援できる学校としてほしいです。お願いします。
- 暮らしがいちばん！住むなら佐々。具体的な実践、実行。
- 優しい安全な町になるといいですね。
- ありがとうございます。
- 今現在、子育て世代でもなく、心身に不自由のない50代後半のため、積極的に考えた事はありませんでした。これから、いつ支援が必要、受ける側になるかもしれませんので、何かお手伝いができる今、ご指示を受けましたら、お手伝いできる事があればご協力したいと思っています。
- アンケートとは関係ないですが、役場の雰囲気、対応があまりよくないです。みなさん知らんぷりします。目が合えば対応して下さいますが。どこの役場もそんな感じですよ。佐々だけはあったかい雰囲気の役場がいいです。
- 佐々町に引っ越してまだ数ヶ月ですが、住みやすいと思います。人との関わりが少ないので、サークル等あれば紹介してほしいです。
- 有料ボランティアの情報などがはっきり解らないので情報が欲しいと思います
- 役場の方は皆さんいつも親切で対応は素晴

らしいと思います。高齢者はだんだん引きこもりがちになります。町内会ごとの集まりを、健康づくりのためばかりの集まりの他にも、ただ楽しくお茶を飲む会とか、エンターテインメントな集まりがあれば参加してみようという気になる人は増えるかもしれません。誰もがこもりびとにならない様に。

- 心くばりのできた住み良い町だと思います
- 包括支援センターは相談した町民に対して、もう少し臨機応変に対応してもらいたかったと思うことがありました。困っている町民に対して、冷たい態度に感じました。残念でした。佐々町に住んでいるのが嫌になった瞬間でした。
- 問30にも書きましたが、自分が何も知らなかったのも、母の死亡の時、大変困りました。私は分からなかったのですが、母が死にかけているのでどこへ行っても、こんな連れてくるなといった態度で追い返されました。救急車はこれのどこが救急を要するのだといった態度で、まるでもの扱いされました。佐々町でもう助からない寿命がつきかけている人を自然に死にかけている人を受け入れてくれる自然死の病院をつくってもらえないでしょうか？そしたら週1ぐらいの割合で私はそこのボランティア（そうじでもなんでも雑用係として）をしたいと思っています。そしてそこで、または、その病院のお医者さんに自宅でもいいのでみてもらいたいと思います。
- 先進地と言われるだけ、住民福祉課の皆さんの活動は素晴らしいと思っています。いっぱい職員の方が働きすぎではないかと心配です。これからも佐々町の顔として活躍を期待しています。
- 台風などの時、町内放送で避難を呼びかけているが避難場所に毛羽や飲料水など用意してあるといいと思う。自宅から準備して行くのは高齢者には特に難しいと思う。
- スポーツ少年団のコーチをしています、参加児童の確保とともに、スタッフとして活動を支える人材も必要としています。特

に、平日の夕方の活動時に指導者が不在となることがあり、そのような時には、練習を中止しています。団体によっては、ナイターで行っていますが、児童の発達段階を考えると避けたいところです。

- お世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。
- 佐々町の町営住宅について、古い所は空き家が多く見られますが今後、町としては建て直しをするのか、そのまま維持していくのが、役場に聞いてもはっきりとした返事はもらえません。住んでいるものにとってはこれからの事もありますので、ある程度は情報を知らせて欲しいと思います。
- 民生委員の方は普段はどういう活動をされているのでしょうか？特に独居の方が、入院等があれば、せめて班長さんには知らせて欲しいと思います。（今は個人情報等も厳しいと思いますけれども）以前の民生委員の方は時々、見かける事がありました。今はコロナ禍の為かも知れませんが、集まる機会もないので顔も知りません。
- 既存タクシー料金の助成内容見直しの件は再度見直し願いたい。同額程度の助成なら、年度毎に本人（又は代理人）が申請者を提出する様にする。①1ヶ月4枚なら（タクシー初乗り料金だけ助成残高は本人負担）②1ヶ月8枚なら（料金は本人半額負担）の中から選択する。ただし、交通不便な地域の方には例外として別途考えてください（職員の方々にはお手数をおかけしますが）。近所の高齢者の方も私も困っています。今までそれなりに工夫して使用していた。外出時は行きはバス、帰りは買物の手荷物があり、乗降できない為、タクシー券を利用（初乗り料金助成残金自己負担 1ヶ月4枚の時）私は数年前からリフレッシュパス 65の定期券1年分を買って公共バスとタクシー券との併合で外出している（1年定期 34,800円÷12ヶ月÷30日＝1日 100円程度の積立金を使い購入）80代で定期的に通院（町内外）し、年金暮らしでもできるだけ自立した生活をしたい為、体には気を配り、日

常生活をし、頭の体操にも良いと思い、続けていきたい。タクシー券助成金交付は再検討していただきたい。

- いろいろな事についてお世話、活動に感謝しております。年々、思いがつかなくなってある事に残念でなりません。今後ともお助けいただくことを念じております。ありがとうございました。
- 子供の〇〇ヶ月検診の時間を午前にして欲しい。2人子供がいますが、小さい時は、13:00/14:00～の検診でちょうどお昼寝の時間なので、グズって思う様にできず子供も親もストレスになっていました。今もそう思っている方はたくさんいると思います。周りのママのみなさんも毎回言っていました。改善できるのであれば、ぜひお願いしたいです。メリッタ kids みたいな屋内で遊べるレジャー施設も佐々にできればもっと子育てしやすく、人口も増えると思います。
- 私自身、転勤のため引越しをして佐々町に来ました。あと何年住むかはわかりませんが仕事としても福祉に関わっており、福祉にすごく興味があるので、佐々町の福祉についてもっと知りたい、知らないといけないと思いました。引っ越してきたこともあり、知人がほぼいないのですが、福祉に携わるものとして、できることがあればやりたいと思います。そのために、佐々町の福祉サービスや施設についてまずは知りたいと思っています。
- 現在、療養中なのでこのアンケートの文字を読んで返答するが苦痛だった。
- 町内会も行政も、高齢者ばかり力を入れ、子育てに力を入れていない。虐待の対応も同じく不十分。町内会費は払っても使われているのはほとんど高齢者や小学生以上の子どものためで、何のために金を払っているかわからない。
- 無償のボランティアの方に迷惑をかけない様に努力したい(有償のサービスを利用したい)。運転免許返納後の病院等への乗り合いバス(タクシー)低料金を要望したい。
- 地域の課題を解決しようとする取り組みが

- 必要。地域の一番の課題は、町内会に入らない住民が増えているということです。これを解決するための努力を行政やらなければならないと思う。それをやる事が誰もが安心して暮らせる地域社会につなげる早道ではないのか。
- 策定計画ご苦労様です。働ける人は良いが、1 日中家の中に閉じ込められている人を見ます。息をしているだけで、楽しみはないのではないかと。町内にそういう方々は、どの位おられるのでしょうか(年金あるから長生きを願っておられるのかも)。意識の向上で明るく生きて行きたい。
 - 今、佐々町で1人暮らしです。お世話になっています。これからお世話を掛けると思います。宜しくお願いします。
 - アンケート報告会は参加したいと思います。皆様の意向を知りたいので!!
 - 今は元気です。高齢者に対する福祉に佐々町が充実している事を良く解りました。ありがとうございますの感謝です。93 歳の我儘な頑固オヤジです。
 - 福祉向上のため町が積極的に取り組まれていることが分かりましたが、知らないことが多く、今後知ることに努めるようにします。
 - 高齢でなるべく迷惑をかけないように過ごしていきたい。ボランティア活動されている方には感謝のみです。
 - 問 16 は、間食はするのかという趣旨であれば NO であるが、食後のデザートとして小みかん 1 個、リンゴ 1/2 個位は毎日食すると回答です。おやつやジュース類は摂りません。
 - 自分自身は近くに子供や兄弟がいるので高齢になっても不安はあるが、少し安心な面もある。でも、近くに全くそういう人がいない高齢者の方はいろんな不安があるのではないかと思う。そういう人達に対する支援は町が積極的に行って欲しい。
 - その時になって手助けできるかがわからない。
 - お疲れ様です。
 - 佐々町での住み良い所となるよう期待します。未だ自分で動ける体である為、他人事のような気持ちで居る事を反省します。
 - 不登校に対する取り組みを充実させて欲しい。支援、学力の向上のための支援等、できるだけお願いします。
 - 型通りの設問でアンケート結果ができるのかと思う。
 - 免許返納して1年、移動はバス、それで気づいたのはゴミの多さです。役場の皆さんの駐車になっている文化会館の端、沢山落ちていますよ。気になりますか、微力ですが拾っています。
 - アンケートに答えながら自分が手助けを受ける年齢でちょっと寂しくなりながら調査に参加させていただきました。
 - アンケート内の対象にならない様、日々健康づくりに努力していきたいです。
 - 若い世代の重荷にならないようできるだけ健康でいたい。そしてあっさりと天寿を全とうしたい。
 - 今、物価高騰で、子供のいる世帯はもちろん、町民の方々が困っています。なんでも、佐世保に合わせず、佐々町独自の給付金などあってもいいのではないのでしょうか? 一人 3,000 円分の商品券をいただきましたが、正直全く足りません。ご検討を切に願います。
 - 佐々町をよくしようとされていることがよくわかるアンケートでした。今現在は仕事をしていて協力できることはありませんが、将来(定年退職)は少しでも町内に協力して住みよい佐々町を共に目指していきたいと思っています。
 - 介護施設の中身の充実(サービス面、特に費用的なもの)。
 - 最近車イスを使うようになりました。車にのって病院、買い物に行くのですが、介護タクシーは経済的にふたんが大きすぎて病院に行くのにも大変です。でも家に介護用の車を用意するのも大変です。貸し出し用の(予約制、有料)があれば家族につれていってもらえるので、とても助かります。どう

か検討してください。

- まだまだ考える事ができません。
- 質問について正確に理解出来ない点がありましたので、よろしくお願いします。
- タクシー券の代わりにバス券の補助を要望します。健康維持のために、スイミングスクールやサークル活動等に参加しており、中央の施設まで行くのにバスを利用しています。タクシーは利用していませんが、タクシー券を使用した時の町の負担を考えると、バスの補助も可能ではないかと思っています。現在、西肥バスのリフレッシュパス(40,000 円/年)を購入しているので、その補助があると助かります。
- 佐々町は住む所としては住みやすいと思うが、それは普通に生活できる人であって、何らかの手助けを必要とする人が同じとは思わない。またある一定の人だけが特別あつかいされていると思う。町職員のレベルの低さは否めない。県や他市町が動いてからしぶしぶ取り組むといった考え方や、率先して進めていこうという意識を持った職員が少ない様に感じる。図書館でPCを使える様にしてほしい、松浦市は使えて便利。すみません、保健福祉と直接関係ない事も書いてしまいました。とりあえず日頃思っている事を書いてしまいました。
- 今の所、自分の事は自分でできるのですが、いずれお世話になるかも知れません。
- いろいろあると思いますが、がんばって下さい。よろしくお願い致します。お世話になります。
- 応援しています！
- 福祉、介護などの対応がスムーズで、とても暮らしやすい町だと感謝しています。健康に気を付けてできるだけ自立した生活ができるよう努めたいと思います。
- 子育て世代だけ優遇されがち。佐々町は高齢者が多いのでもう少し高齢者のサービスを考えて欲しい(佐世保市はバス代がただ等)。免許返納が言われているが足が不自由で困ると思う。佐々町で使用できるお得な券を

定期的な発売して欲しい。町もうるおうし一石二鳥。町議員や町職員、給料もらいすぎる。それを町民の為にまわして安心して住めるようにして欲しい。

- 私は親の介護のためにヘルパー資格を摂りました。佐々に来て、更に不便は増し、いろいろ不安です。高齢者の条件付きタクシー券はあるようですが、大切な交通機関の無料化がないようです！高齢者の交通事故多発が問題になっている今、高齢者の免許返納を呼びかけています。他の自治体は交通機関無料、奥まった所へミニバスが実施されているのに佐々だけ無いのは大変不便な事です。「佐々まわりは高くつく」と利用者が減り～現在バス本数が激減していて免許なしの人が困っています。高齢者が自宅や施設、佐々の中だけの小さな箱の中だけでは無く、重度の認知症ではない限り、交通機関無料化により自分で外出が多くなり～毎日の自発運動＝脳の活性化に繋がる、毎日の運動は健康に直結します！支援をお願いします！(ちなみに佐々～佐世保タクシー4千円～5千円かかります)他所の町は、充実発展し住民が住みやすく考えてくれている自治体はたくさんあります！なぜとり入れないのですか？何年経っても全てが変わらないのは何年か前に役場でとなりのお年寄りの代弁をした時、態度発言など対応などなどに大変ショックでした。これでいいのでしょうか？施設では、よそでは以前から月1の外出お店でランチを楽しみの1つとして実行されていますが佐々はどうか？以前の町長の時は栄養士による昼食、町民の訪問、ヘルパー資格養成ととても力を入れられていたようです。今はどうでしょうか？町長は自分でちゃんと訪問されて把握されていますか？あり方の改善、コミュニケーションを大切にされていますか？住民のための意見箱、カタログの棚にゴミがたくさんたまって汚くこれでは役場の意味がないです。大切な意見、カタログです。役場の体勢をしっかりとしてほしい!!年1の基礎検診で一般基本の血液検査、婦人科年1自

己の病院で、補助により 500～千円での各健診が無く佐々は健康を重視されていないのですか？(期間も短じか過ぎ)誰もが安心して安全な定期検診の徹底を願っています。◎あまりにもよそと比べ違いすぎて改善してほしい所がまだあります。孤立せず市の豊かさ他所自治体を見習って古い遅れではなく柔軟で広い考えを持ってほしい。大きな街(市)から信頼され、協力、話し合いができる町！住民が他と同じ待遇が受けられるように誰もが豊かで便利、イベントなど明るく楽しい町になる事を願っています(一部高齢者の声も書きました)3月9日(木曜日)。

- この様なアンケートをされる事だけでも町民の意見を聞こうという体制が分かります。前のページにも記載しましたが、車イスが通れる歩道を佐々町全部して下さい。広い歩道は多いのですが、時々歩道が無い場所があります。全部広い歩道にして下さい。(出来れば自転車も走れる道も)よろしくお願いします。
- 少子高齢化で子育て世代はボランティア等協力したくても共働き、育児の為、自分達の事で手いっぱいだと思う。少ない人数で高齢者を支えていかなければならないのなら、余裕を持った働き方が出来るような仕組みに(国全体が)すべき。子ども達のための公園だが、体力作りとして活用できるような公園を作ると良さそう。(他県の公園等参考にしては)
- 80 才をすぎて自分の体の事を考えました。これからは健康に気を付けます。
- 今は自分で歩けるけれども、いずれ介護が必要になるのだと思います。
- 人口が増加していることは素晴らしいです。今後西九州道がつながることから、それを見越した町づくりをしてほしい、企業誘致など。本山トンネルの佐々側に街灯がほしい。いきなり真っ暗になる。大型商業施設が出来ると大変便利だと思います(イオンモールなど)品ぞろえなどの理由からどうしても五番街や大塔イオンまで行く事が多いです。佐々インターもありますし、集客は見

込めると思います。(平戸からも)雇用の拡大にもつながるのではないのでしょうか。

- 介護保険料が高すぎる(関係が無いかもですが)。今後大変になると思います。皆様も大変だとはおもいますが、宜しくお願いします。
- 精神疾患のある方が無理なく自分のペースで働ける社会作りをしていきたいです。
- アンケート多すぎ(項目)
- 感染症に対する情報が非常に偏っている。ワクチンについてはもっともっと慎重に議論されるべきだった。特に子ども。接種券の発送を控えた波佐見、長与等の自治体があること知っていますか。被害者の方々が裁判も行われていますが、町としてそれを認識していますか？厚生省発表2022年の超過死亡率みましたか？ワクチンが「良いもの」として推しすすめた責任とれますか。欧州議会では、公式にこのウイルスはプランデミック(計画的)だったと発表されましたね。日本は言論統制入っているので報道されませんが。陰謀論でもなんでもありませんよ。
- 歩道のデコボコが多くて車椅子を押して歩く時に止まります。レンガ模様もステキだと思いますが、マンホール等との段差など、見にくい所もあり、危険さえ感じます。せめて、メインストリートだけでも早急にチェックして下さい。(段差解消の前に目立つ色などで「お知らせ、カラー付けを！」)予算が無くても出来る事があると思います。
- 佐世保⇄佐々間バス料金 70 才以上無料化
- 佐々町はゴミ出しの日が多くすごく助かっています。ごみ出しを前日夜から出せるようになると助かります。また、オムツを指定ゴミ袋ではなく無料で出せたらいいなと考えます。
- ボランティアで頑張っている方々の立場を確立させてほしい(有償対価が低い)。
- 今回の調査内容は、全国一律の設問内容になっているのか。佐々町独自の内容になっているのか分かりませんが、できれば佐々町の特性に応じた設問の方が地域のニーズ

や課題が明確になり、その後の保健福祉総合計画、介護保険事業計画等の策定の際も、より住民ニーズに即したものになる様に思っています。さらに、マンパワーや、業務負担の問題はあると思いますが、集計は仕方ないにしても分析は町の実情を把握している町の関係者が関わるべきと思います。

- 1：拾数年登校児童の見守り(交通安全協会)をしてきたが高齢の為出来ないのが残念。2：強くお願いしたいのは、福祉に従事する職員(ボランティア含)は利用者のプライバシー(個人情報保護)には充分配慮してもらえないと!!利用者は安心して相談、利用を躊躇せざるを得ない。「上記については児童民生委員も特に留意するよう」以上佐々町の保健福祉の充実を祈念いたします。
- 問 38 に関して私にもできることがあっても、私でいいのかと丸を付ける事ができませんでした。アンケートのおかげで知らなかった情報が入ってよかったです。
- 問 37 にあったようなサービス、活動等についてあまり知らなかった。このようなサービス、活動を一覧表にして各家庭で活用できるようなパンフレットやチラシ(硬めのものや、壁に貼るなどできるもの)があると良いと思った。あったかも知れないが現実的に知らない。アピールして欲しい。
- 日頃の御支援に感謝しております
- スタッフさんの普段の様子を見て大変そうだと思う。介護施設の給料を上げてほしい。
- 84 歳の老女なので、脊柱管狭窄症で歩くのが不自由です。これから、佐々町にお世話になる身です。皆様に迷惑をかけぬよう頑張ります。今のところ、近所の方や友人に世話をかけて独居ですが、これから皆様にお世話を掛けたいと思います。よろしくお願い申し上げます。まだ、一人で大丈夫です。
- 佐々町頑張ってください
- やはりどうしても休む時間がないので、少しでも預けて休める場所が欲しいです。これからの風呂の事も、体が大きくなればなるほど負担があるので、どうにかしたいです。もし、施設が出来るとなれば、風呂とり

ハビリできる場所があると、とても心強いです。基本的に外に一步も出れないのが、とても辛いです。

- 無料法律相談について、社会福祉協議会(6月と12月を除く毎月実施)と役場(6月と12月に相談受付)で実施されている。両者ともに、事前に電話で受付される。相談時間は一人30分以内となっている。下記の通り、改正善処を要請します。1：相談者も、30分以内で要領良く分かり易く話すことは難しく、概略的な話であるから弁護士側の回答も、相談者の「話」を正しく聞くことができず、不明瞭で曖昧な当たり障りない回答となり、30分の相談時間を「ただ過ぎれば良い」という無責任な対応となっているように感じる。2：過去相談された方々から、これまでの弁護士の受け答えの良し悪しの印象を、アンケートを取り調査し、その上で善処すること。3：13：00-16：00までの3時間の間に、一人30分の割り当てで計6人の応募が無い時、例えば毎回3人程しか応募してない時は、この3人分の相談時間90分間を、当日の応募者に無料で相談させること。なぜなら、弁護士料は役場側から3時間分の弁護士料を受け取っている。4：相談時間は一人1時間となるようにする。例えば、相談時間を9：00-12：00、13：00-16：00とする。5：上記の件は、社会福祉協議会には、数年前から伝えているが、「関係各所に相談してから」と言われている。他市町村への相談は不要と思う。理不尽な対応をせず、良きことは即応して欲しい。上記2.の件を重視して、アンケートの評価が悪い場合は、弁護士の交代もできる。社会福祉協議会の弁護士の二人は、会創設当初から相談者の対応をしているが、相談者側に立った誠実な弁護発言をしていないと感じる。しかし、小生ひとりの印象なので、上記のアンケート調査を早く実施するよう、社会福祉協議会には伝えているが、対応されないのが何故なのか不思議である。無料法律相談に行った時、普通に真剣に相談者の私の話を聴けば本当は回答できる話

を、その弁護士は専門外なので長崎県弁護士会の方で相談して欲しいと言われた。相談する側も、無駄な時間を費やしたことになる。この弁護士に役場は弁護士を支払うべきではない。この弁護士は、離婚問題などを主に弁護業務としていたと言っていた。相談を受ける弁護士も、全ての相談事項に適切に返答できる弁護士は居ない。ゆえに、役場の福祉班または社会福祉協議会側は、弁護士との相談日前に、町民に「さざ月刊誌」へ相談内容を（事前に）募集し、その相談内容（事項）に応じられる弁護士、相談当日に来てもらえるよう、弁護士協会と協定を結んでおくこと。この時に協定料金も契約しておくこと。相談をする側（住民）に適した相談を受けきれない場合、報酬は支払わないような厳格な契約を結んでおけば、対面相談時には確かな返答が聞けると思う。前述の様に、13:00-16:00の時間の協定料金は、一人当たり30分ならば6人分の協定（相談）料金である。当日の相談者が3人のみだった場合は、 $6-3=3$ 人分を、「当日の相談に来ている人のうち希望者」と「同日のキャンセル待ちの人」に均等に配分すべきなのに、現在は希望しても受け入れてもらえず、遺憾に思う。公金の支払いが適正に行われていないことを意味する。善処して欲しい。改正されたならば、「さざ月刊誌」の公報に掲載してください。相談事項は、内容によって長時間かかることは分かっているが、最初の相談時は、相談する側の説明の時間もあり、1時間は必要である。聴く側の弁護士も、1時間くらいの説明を聴かないでは、必要最小限の返答もできない。30分くらいの相談者の話に対し、公正な返答は難しく、曖昧な無責任な話しかできない。よって、相談時間は1時間に改正されることを切望する。1時間以上の難しい内容になる場合は、個人が新たに弁護士に依頼することとなる。

- ありがとうございます！
- 昔親の介護について役場、包括支援センター間でたらい回しにされて以来、町に対し

て強烈な不信感があり、正直このアンケート回答も苦痛でしかない。

- 佐々町に越してきたばかりですが、子育てしやすい町だと思っています。女性の就労が推進されている世の中ですが、女性はますます忙しくなっていると感じています。地域のために役に立ちたいと思っていても、仕事、子育て、家事に追われる毎日です。今後さらに働き盛りの世代とその子ども達への支援（子ども食堂など）が増え、佐々町を担う次世代が育ってほしいと感じます。
- 今回、回答を web で寄せることができたのは手軽にできて良かったです。また、このアンケートがきっかけで佐々町の福祉の取り組み(問 37 の施策の数々)を知ることができました。年代や個々人の生活状況によっては、そういうことを web を活用して頂けると、周知が広がり良いのでは無いかとも思いました。もちろんこれまで通りの広報誌のようなアナログでの活動も大切ですので、様々な住民サービスがデジタルとアナログのどちらにも偏ることなく充実していくことを望みます。関係者の皆様におかれましては、いろいろと大変かと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。
- 引っ越したばかりでわからなかったことばかりですが、これからも頑張ってください。
- 問5で身長と体重を聞かれましたが、世帯主しか回答しないアンケートで身長を尋ねるのはなぜですか？
- 色々と新しい事業の立ち上げは結構なことだが、はたして十分な人材の配置はできているのか、新事業対応は大変苦勞されているのではと思います。今いる人材では、ただただ役場等の仕事が増えているだけだと思います。やった方がいいとは思いますが、無理してやることなのか精査し、準備して、ブラックにならないように、注意して行ってほしいと思います。新庁舎の建て替えもあり、働きにくい環境下にもなると思われるので、ゆとりのある業務で頑張ってもらいたい。
- 佐々町には、佐世保の児童館のような、学

童期の子供達が、真夏や真冬、雨天時に気軽に利用できる場所がないのが残念です。図書館も子供と大人の分離がされていないため、少しの話し声でも注意されてしまいますし、屋内での公共の居場所がないと感じます。

- 街灯が少ない
- アンケートしても、改善がないような気がしてなりません。
- 精神障がい者などの、生活支援施設の不足。
- 自宅周囲に飲食店があるが、飲んだ帰りなのか夜中に大声で叫んでいたり、自宅前にゴミを投棄されることが多い。ストレスに繋がっています。
- 健康寿命が延びても、頼りになる親族が近くにいない独居老人が食べたいものを食べられない惨めな想いをしないよう、手助けできたらと考えます
- 猫の多頭飼育のお宅があり、近隣の住民達は長年大変困っています。近隣の住民や、役場の担当の方がどのように飼い主の方に介入したり、サポートが出来るのかを話し合える場が出来るといいなと思います。もしかしら、なすすべがなく(知らず)飼い主の方一番困っているのかも知れません。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
- 地域で支え合って生活するというのが、理念としては立派でそうあった方が良いと思いますが、今回のアンケートから具体的にどう支え合えるのかをイメージした時にとっても現実と理想のギャップを感じました。何かしら自分にできることをと思ってはいますが、現実はそんな余裕もなく自分のことで精一杯な気がします。休みの日まで逆に誰かと関わるのが億劫だと感じている自分も含めて若い方も多いと思います。今私自身は実家を出て暮らしていますが、やはり長くその地域で暮らしているからこそその顔馴染みや支えあいというのが本来目指す形なのだろうなと思います。安否確認しろと言われてするのはではなく、隣のおばちゃんが無事どこまで行けないから車で送るとか、それが普通の支え合いな気がします。

佐々町は今は色んな所からの移住者など出たり入ったりも多いと思うので、そういった方々が地域に馴染みやすい環境（煩わしくない程度の）が必要だろうなと感じました。

- アレルギー対応の給食をしてほしいです。
- ある程度は佐々町まちづくりのビジョンは知っていた。しかし目標を掲げるのも大事だが現状地域で起きている野良猫問題に目を向けてもらいたい。野良猫を処分もしくは飼い猫を家の外に出す家に罰則を設ける条例をつくってほしい。外に居る猫は野良猫扱いにして処分の対象となります条例を作ってもらえば猫を外に出すような迷惑な家が減ると思います。
- 文科省が学校で教えることだけでは足りないところが多く、また人は忘れてしまう生き物であるため、子供や若者はもとより、特に教育から離れてしまった大人に対して、具体的に福祉の重大性やモラルのなぜなにに学習といった意識開発をしてくださればと思います
- ボランティアなど知らないことが沢山あったので、HP など見てみようと思いました。なんとなくボランティアって頼むほうもする方も一歩踏み出すハードルが高い気がしていたけれど温かい雰囲気がいいなと思いました。
- コロナのせいとは思いますが 人と人の交流がまた戻るのか？不安に思います！自分だけ良ければ他の人は知らないと言うご時世の様な気がします！
- 定期的に行なってほしい。
- 地域での助け合いについては、必要なこととは思う。しかし、活動については、個人差が大きく(それぞれの立場でできることの違いや急な変更、利用者の希望に沿わない場合などもあり)、なかなか難しいと感じる。私自身も佐々町出身ではないため、近所の方をよく知らない。地域での助け合いを定着させるためには、地域のつながりも大切なる(よく知らない方を手伝うのはハードルが高い)ため、この点を活性化させることも

考えられると感じた。また「何かあったら」と考えると、ボランティアでできることは限られる(車での送迎などは厳しい)。スマホ等を使い、必要に応じて買出しの希望を提示し、対応できる人が余裕がある時間や仕事帰りに買出しに行くことができるようにするなど、(Uber eatsのような)システムも考えられる。互いに無理のない活動でなければ、長続きしない。より住みやすい佐々町となるよう、知恵を出し合っていけると良い。

- 日曜日の朝のスピーカーでの放送は寝ている家庭もあるために必要最低限にしてもらいたいです。
- 佐々に移転して間もない為知識不足ですがハローワークみたいな情報提供するところがありますか？
- タクシー券の枚数が増え、半額助成になったことでとても助かっています。
- コロナの影響もあり、子供の運動離れが進んでいるように思える。スポーツ少年団等の活動を活発にして、スポーツを始める子供を増やす施策を実施していただきたい。
- 子供の事でよく保健師さん方に相談させて頂いています。ありがとうございます。
- 保健福祉総合計画策定のため以外にも活用できる、いろいろなモニタリング・広報を行ってください！ 実効性が伴ったものでなければ意味がありませんので...
- 地域の交流といった点では、近年子供会に入会される方が少なく子供同士の交流の場もありないように感じます。口石小学校でいじめ問題もあるようなので高齢者や障害者だけでなく子供のメンタルケアも考えていただけたら、より住みやすい街になるのではないかと思います。
- 今は仕事をしているので、退職したら自分が出来る事があればボランティア活動をしたい。
- アンケートの“問い”に関し、『福祉』の捉える範囲が広いため、もう少し具体的に範囲を絞っての質問の方が回答がしやすい。子育て、ボランティア、介護、福祉に関す

る相談など...

- 社会福祉協会に何度も足を運びました。なかしらが自分が人のお役に立てたら、笑顔に貢献できたらと！しかしながら今だに何も連絡は無いです。情報の共有もない！待っている方々はきっといるはずなのだけど...
- 最後に広告多すぎて多分見ないと思います。
- 二番煎じではなく、佐々町が全国でも初めてという様々な支援策を考えてもらい実行してもらいたい。大きな自治体ではないので、少々おせっかいなぐらいの支援介入があってもいいと思う。ただその際には、大きな自治体ではないので個人情報等の情報管理に関しては、職員は、シビアに厳しく誠実に取り組んで、取り扱ってもらいたい。
- お疲れ様です。
- 高齢者(60歳から)に対する法律相談(相続等)の実施。
- 佐々町と長崎県立大学や短大等と連携して、実習先の1つに佐々町内の事業所を選択した場合に、メリットやポイントなどが付く仕組み。佐々町内の事業所や役場、医療現場、商店の店頭で若いスタッフが立つ。そんな商店が立ち並ぶ街。若いエネルギーに満ちた街づくり。
- 長崎労災病院で看護師をしています。独居老人が搬送されて帰宅となった場合、また1人で生活が送れるか不安な方もいらっしゃいます。そのようなケースでサポートしてくださる方や担当がいらっしゃると、安心して帰宅させることができるのですが、不安を感じる事が時々あります。
- 親の老いに加え、自分自身の老いも自覚する最近で、自分の将来を考えたときにも、安心して暮らせる町であってほしいと思います。ボランティアや地域での交流など、したいとは思っていても、仕事に追われて時間を捻出できない現状です。させられているという強制やしなければならぬという義務ではない、無理のない形で、出来る時に出来ることを、出来る人が地域に関われる機会が増えることを願っています。

- 真の健康とは何なのか、介護され生かされる高齢者にはなりたくない。（不慮の事故等は除く）社会保険料が安くなる様に、各個人が考えて欲しい。不摂生して病気に罹る人と、健康的な生活を送る人との健康保険料が同額というのが納得出来ない。
- 佐々町は子供の人口も増えていて、不登校も増えていると思います。それに対しての学べる場所がないので 積極的にそういう場を作ってほしいです。自習をできる場所があっても、教えてくれる場所がないのでフリースクールなどを早急に設けてほしいです。
- お疲れ様です。回答がお役に立てるといいです。
- 佐々町内がこれからも住みやすい町になるように、アンケートを引き続き行ってもらいたいです。
- 両親がタクシー券を利用して助かっています。なくなるという話を聞きましたが続けてほしいです。半額になるので通院時に利用しています。

Ⅱ．計画案への意見募集結果

令和6年1月15日（月）～令和6年1月29日（月）までの期間において「佐々町保健福祉総合計画」についての意見募集（パブリック・コメント）を実施した結果、2件の貴重なご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の概要とその対応は以下のとおりです。

ご意見の概要	対応
さまざまな観点から「寄り添う」「未然に防ぐ」取り組みにも力を入れていくこと、児童分野では不登校関連の支援展開についてはよく記述されていますが、児童虐待の分野の観点では内容が非常に薄くなっているのではないのでしょうか。官民連携の観点からも、児童養護施設へのショートステイ事業・トワイライトステイ事業³⁹を推進（利用しやすく）したり、虐待対応について児童相談所＋αで施設職員も要保護児童対策地域協議会に参加をしてもらったりなど、万々に備えるための取り組みの強化や児童養護施設や地域小規模児童養護施設、児童家庭支援センター⁴⁰などを誘致することも、児童虐待防止に有効な手段ではないのでしょうか。	いただいたご意見をもとに、計画書 49・50 ページへ虐待防止の取組みを追記しました。 また、児童虐待防止についての詳しい取組みは、令和6年度中に策定予定である第3期子ども・子育て支援事業計画への記載を検討します。
計画書の中に横文字の専門用語（アウトリーチ、ワールドカフェ形式など）が多く出てくるため、目次の第6章の後に「用語集」として解説をつけるとわかりやすいと思います。	章立てをして用語集を作成することも一つの案として、より読みやすい方法を検討した結果、各ページ下部に注釈として用語の説明を掲載することにしました。

³⁹ 児童養護施設へのショートステイ事業・トワイライトステイ事業：母子家庭等が安心して子育てをしながら働くことができる環境を整備するため、市町村が一定の事由により児童の養育が一時的に困難となった場合に児童を児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院、保育所、ファミリーホーム等で預かる事業。

短期入所生活援助（ショートステイ）事業と、夜間養護等（トワイライトステイ）事業がある。

⁴⁰ 児童家庭支援センター：平成9年の児童福祉法改正によって全国に創設された、子育て中の世帯、地域住民、児童本人など、地域の子どもに関するさまざまな相談に応じる施設。

Ⅲ. 佐々町保健福祉総合計画の策定について（答申）

令和 6 年 2 月 16 日

佐々町長 古庄 剛 様

佐々町地域共生推進協議会
会長 中村 尚広

佐々町保健福祉総合計画の策定について（答申）

令和 5 年 11 月 1 日付けで諮問がありました標記につきまして、本協議会で慎重に審議を重ねた結果、別冊のとおり答申いたします。

なお、計画に掲げる諸施策の推進にあたっては、下記の事項に配慮し、各施策を着実に実行いただくよう要望いたします。

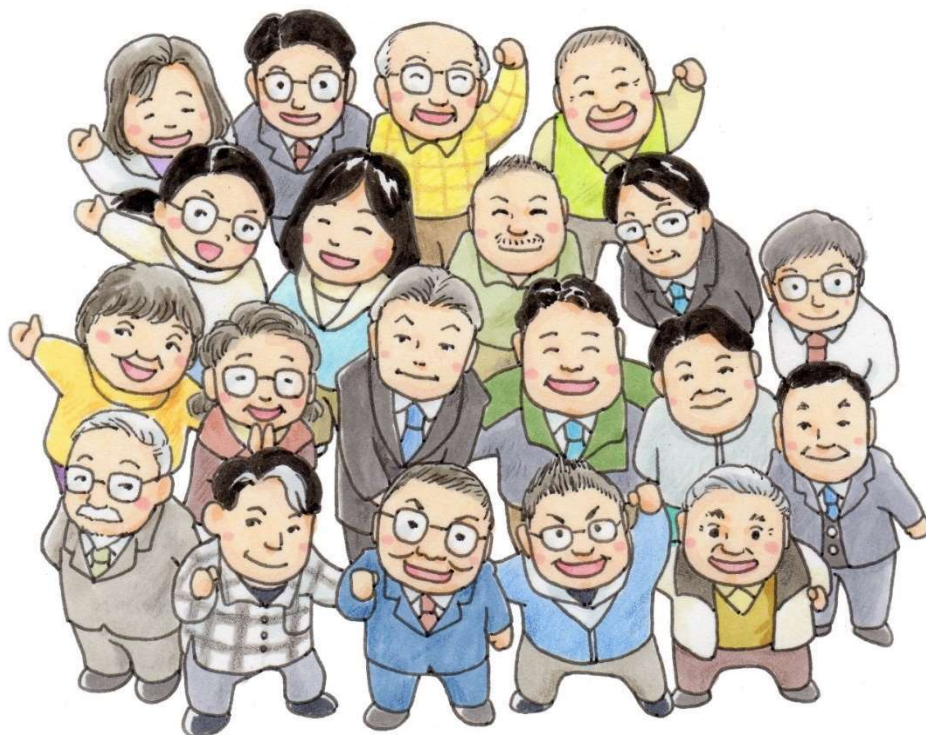
記

- 1 本計画の推進や今後の事業展開にあたっては、基本方針として掲げた「ひとりひとりに寄り添う佐々モデルのさらなる展開」「多様性を喜んで受け入れる‘やさしいまちづくり’」「楽しみながら自然に健康になるまちづくり」及び「持続可能な体制・取組みに向けた官民連携」を十分に踏まえ、持続可能な地域共生社会の実現に向けて推進していただくよう求めます。
- 2 社会状況が大きく変化する中、既存の制度では対応しきれない複雑化、複合化した課題に対応することが求められています。こうした状況下において、制度や分野を超えて、地域住民や、地域の多様な主体が参画し、人と人、人と地域がつながることで、住民一人ひとりの暮らしを地域とともに創っていく取り組みとなるよう努めてください。
- 3 本計画に掲げる事業の推進及び評価・検証の過程で、社会情勢の変化や町民ニーズを的確に把握し、適切な事業の評価・検証を行い、実態に即した柔軟な事業展開となるよう努めてください。
- 4 本町が目指す姿・目標を共有し住民と共に実現するため、施策の推進にあたっては、行政の枠組みを超えて一体的に推進することが必要です。町民と行政が共に学びあい、佐々町の健康福祉分野におけるさらなる発展を期待いたします。

Ⅳ. 地域共生推進協議会 名簿

(氏名五十音順)

ぶくぶくクラブ	代表	岩本 ます子	
佐々町社会福祉協議会	事務局長	大瀬 昇	
北松浦医師会	かわむら内科 院長	川村 純生	
佐々町食生活改善推進連絡協議会	会長	小林 貞代	
弁護士会 飛鷹ひまわり基金法律事務所	弁護士	小林 洋介	
スクールカウンセラー		近藤 由香里	
株式会社 愛佳	代表取締役	下釜 豊広	
相談支援事業所さわかぜ支援センター		竹下 智美	
佐々町教育委員会教育委員		中村 尚広	会長
介護予防ボランティア 元気カフェぶらっと	代表	福田 修三	
社会福祉法人佐々川福祉会		古川 薫	副会長
佐々町スポーツ推進員		松尾 恭宏	副会長
町内会長連絡協議会	会長	水田 秀豪	
北松歯科医師会	かわむら歯科医院 理事長	迎 文彦	
佐々町商工会	会長	森山 政幸	
フリースペースなずな	代表	柳原 佳子	
長崎県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ長崎	社会福祉士	山野 清治	
カブトガニを守る会	会長	横尾 博宣	
佐々町地域福祉計画策定委員会 委員長		吉居 秀樹	
佐々町民生委員児童委員協議会	会長	吉永 浩樹	





佐々町